

# 知事記者会見の概要

日 時：令和8年1月21日（水） 10:00～10:28

場 所：502会議室

出席記者：11名、テレビカメラ5台

## 1 記者会見の概要

広報広聴推進課長開会の後、代表・フリー質問があり、知事が答えて閉会した。

## 2 質疑応答の項目

### 代表質問

- （1）2月8日投開票の衆議院議員選挙における遠藤利明氏の不出馬表明等について

### フリー質問

- （1）衆議院議員選挙について
- （2）県立米沢女子短期大学の魅力向上に向けた今後の取組方針について
- （3）代表質問に関連して
- （4）衆議院の解散に係る首相記者会見について

<幹事社：河北・共同・TUY>

## ☆報告事項

### 知事

皆さん、おはようございます。大変、厳しい寒さとなりました。昨日から「大寒」に入っておりまして、この時期は、一年で最も寒さが厳しくなるころとされております。山形地方気象台によりますと、今週末にかけて、今シーズン一番の寒波の影響により、県内各地で最高気温が 0 度を下回る真冬日となることや、断続的な降雪による大雪も見込まれております。

県民の皆様には、最新の気象情報や交通情報などに留意され、屋根からの落雪や路面の凍結によるスリップ事故には十分注意をしていただくとともに、くれぐれも体調に気をつけてお過ごしいただきたいと思います。

それから、FDA の件です。

株式会社フジドリームエアラインズ、FDA の山形―名古屋便は、昨年 10 月から 1 往復運航へと減便となっておりますが、昨日、同社から、3 月 29 日からの令和 8 年度上期ダイヤにおいて、2 往復運航に復便するとの発表がありました。

県としましては、山形―名古屋便はビジネスや観光両面で本県と東海地域とを結ぶ重要な役割を担っておりますので、FDA に対し、復便を強く求めてきたところであります。今回の 2 往復運航への復便について、大変喜ばしく思っております。

路線の便数を維持拡大していくためには、何よりも利用拡大が欠かせないところであります。県としましては、引き続き、利用促進のための各種助成事業などを行いますとともに、航空会社とも連携し、インバウンド需要の取り込みやプロモーションを強化するなど、これまで以上に市町村や関係団体等関係者一丸となって、名古屋便を含む山形空港の路線の利用促進に取り組んでまいります。

それから、オリンピックでございます。

昨日、全日本スキー連盟におきまして、本県出身の<sup>しほ まさき</sup>斯波正樹選手が来月開催されるミラノ・コルティナ冬季オリンピック、スノーボード競技の日本代表選手に決定したとの発表がありました。

斯波選手のオリンピック出場は、2018 年の<sup>ピョンチョン</sup>平昌大会以来、2 度目であります。2023 年には、ワールドカップで日本男子初の 4 位に入賞するなど、世界の舞台で活躍しており、オリンピックの舞台での力強い滑りと健闘を期待しております。

すでに代表入り決定しているスケートの森重選手、そして、この度選ばれた斯波選手の活躍を県民とともに心から応援したいと思っております。

あと、男子駅伝についてです。

先日、広島県で行われた第 31 回全国都道府県対抗男子駅伝におきまして、山形県チーム

は過去最高の 16 位となりました。

第 1 回大会に記録したのは 23 位でありまして、それから 30 年ぶりに最高位を更新したものであります。本県男子初の 10 位台であります。

全国都道府県対抗駅伝は、中学生から社会人までの幅広い世代の選手によって構成されており、今回は選手全員が持てる力を十分に発揮した結果であり、タイムについても過去最高となりました。

特に若手の選手が力をつけており、今後の活躍も大いに期待できると思っております。京都女子駅伝もあります。女子駅伝はですね、最高 3 位になったことがございます。ちょうどその時、私応援に行っていたんですね。それでちょっと記憶しているんですけど、男子駅伝、女子駅伝ともに、今後とも大いに活躍していただきたいというふうに期待をしております。

私からは以上です。

#### ☆代表質問

##### 記者

幹事社、共同通信の八木と申します。よろしくお願いします。幹事社からは 1 点、お聞きしたいと思います。

衆議院選挙の関連で 1 点です。自民党の遠藤利明氏が、2 月 8 日に投開票が行われることになった衆議院議員選挙に立候補しないということを表明しました。また、遠藤氏は会見の中で、「山形新幹線米沢トンネル（仮称）」などを今後もサポートしていきたいと述べていました。

今回の遠藤氏の不出馬表明や今後の県政の重要課題への関わり方について、知事の受け止め方を教えてください。

さらに、今回の衆院選における各候補への知事の応援や、知事のスタンスを教えてください。

以上、お願いします。

##### 知事

はい、ではお答えいたします。

遠藤利明衆議院議員には、まだまだ本県発展のために御尽力いただけるものと思っておりましたので、大変驚いたところでありました。本当にびっくりして、ショックを受けました。それでもご決断されたということでもあります。

遠藤議員には、1993 年の初当選以来、我が国発展のため、山形県発展のために、大変な御尽力をいただきました。あらためて深く感謝を申し上げます。

最近では、東京オリンピック・パラリンピック担当大臣及び東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会副会長として、大会の成功に御尽力をされました。県政関係では、

特に「山形新幹線米沢トンネル（仮称）」の早期実現に向けて大変大きなお力添えをいただいていたところであり、着実に前に進めることができております。

今後とも、お立場は変わりましても、県政発展のために御支援、御協力をいただければというふうに願っております。

選挙の対応というご質問もありました。今後、私の後援会とも相談しながら考えてまいりたいというふうに思っているところであります。

#### ☆フリー質問

記者

今、質問ございました衆院選についての質問を追加させていただければと思います。先ほどの質問では、どのスタンスでというようなことでしたが、今度は県としての対応につきまして、これだけの短期の衆議院選挙で、かつ知事が挨拶で「寒波」とおっしゃいました、今これだけの大雪となっております。選挙への県の対応として、例えば非常に困難に直面していることであるとか、あるいは、少し難しいところであるとかそういったことがありましたら、知事のほうからの受け止めをぜひ伺わせてください。

知事

はい。非常に短期決戦というようなことで、県と市町村、両方ですね、選挙管理委員会というものがございますけども、1年で最も忙しい中での対応ということになりますけれども、本当にそういう中で一生懸命対応しているというふうに聞いているところであります。

また、県議の補選ということもございますけれども、そういったこともありまして、本当に大変お忙しい中ではありますが、まず職員の皆さん、県も市町村もですね、共に忙しい中ではありますけれども、しっかりと対処していただければというふうに私的には思っております。

あともう一つ、やっぱり県民の皆さんのことが心配であります。大変厳しい寒さとなっております。しかも短期でありますので、それぞれの立候補者の思い、また、お考えといったものをしっかりと考えながらですね、御検討されながら投票されるものと思いますけれども、なんせこういう非常に寒い中での選挙でありますので、出来れば足元の悪くない日に、ご都合つく時に期日前投票というようなことを考えていただいて、くれぐれも滑ったり転んだりというようなお怪我のないようにしていただきたいというふうに私は思っております。

記者

県政への影響、今まさに新年度予算の編成中でございますけれども、こういった非常に年度末、県政ドタバタ立て込んでいる時期に、衆院選に入ることの影響というのはどのようにお考えでしょうか。

知事

本当に大変なことなのでありますけれども、もう止めることはできませんので、出来る限りチームワークを組んで、しっかり対処していくということしかないかなというふうに思っております。

記者

ありがとうございます。

2 点目、米沢短大の設置についてです。昨日も知事のほうに、報告ございましたけれども、27 年度から共学化、米沢短大になるということで、これの設置へのあらためての所感、あと設置そのものの概要でありますとか、今後のスケジュール感をどのようにお考えであるかというところをぜひ伺わせていただけますか。

知事

昨日ですね、米沢女子短期大学の阿部学長からこれまでの検討状況・結果というものを報告していただきました。本当にさまざまな内容でございましたけれども、地域連携、また情報発信の強化、そして学生本位の学びの拡充といったことを考えながら、共学化というもの、そういった取組みを進めていきたいということでありましたので、本当にさまざまな知識、お立場の方々からのご意見を集約したものでありまして、私としては「そういう方向でしっかりと進めてください」というふうに申し上げました。

女子短大の「女子」が消えるかもしれませんが、でも「米短」という呼び名はそのまま使えるということでありまして、米短ブランドをしっかりと維持して、そして女子はもちろん男子にも門戸を開くということで、多くの皆さんからチャレンジしていただける、そういう大学になってほしいなと。また、さらに自由な気風、また力強い、さまざまな力を備えた若者を育てていただきたいなというふうに思っております。

記者

NHK の内藤です。よろしくお願いします。

衆議院選挙が来月 8 日の投開票の日程ということで、冬場の選挙になるということで、先週知事のほうに受け止めをお尋ねした時に、雪道を投票者が行かなければならないということで大変心配しているということで、投票率の低下の部分についても少し懸念を示されたかと思います。その投票率、山形県は高い状態が続いているわけですが、それを維持向上していくために、今回こういった取組みを考えていらっしゃるか、もしあれば教えてください。

知事

維持するための取組みというのを考える暇<sup>いとま</sup>もないくらいの短期決戦でありまして、もうとにかく投票、開票というところまで。まず、選挙民の立場に立ちますと、投票用紙が来ないと始まらないということもございますし、あとは投票所開設、その前の看板設置とかですね、大変忙しいスケジュールだと思いますので、まずしっかりと対処をするということだというふうに思っています。時間があつた時には、投票所を増やすとか、いろんなことができたかと思うのですが、今回そういう状況ではないのかなというふうに思っておりますが、出来る限り、投票し易いというような環境作りも、でもちょっと今回大変かなというふうに私的には思っております。

あまり色々は申し上げませんが、先ほど申し上げたように期日前投票というようになことも促しながら、できる限り投票率を上げていければなというふうに思っています。

担当（県選挙管理委員会事務局）

県選管事務局でございます。選挙の管理執行に関すること、啓発であつたりとか、そういったことにつきましては、県選管事務局のほうで対応させていただきますので、選管事務局のほうにお問い合わせくださるようお願いいたします。以上です。

知事

ということでよろしくお願いします。

記者

山形新聞、稲村です。よろしくお願いします。

遠藤利明さんの引退の件で、今後についてなのですが、利明さん、政界は引退されますが、日本スポーツ協会長という立場は続けていかれるということで、山形県としては今後ですね、日本スポーツマスターズの誘致、そういうものも目指しているということです。今後、そういったスポーツ分野での連携も一つ関わりとしてあるのだろうかと思定されますが、知事としてはお考え、どうでしょう。

知事

はい、そうですね。日本マスターズの大会誘致ということを考えておりますので、遠藤利明先生は、日本スポーツ協会の会長でいらっしゃいます。私は県の支部長ということになっているのですが、そのマスターズを誘致するという点でも大いにご協力をいただきたいと思っております。

スポーツ全般についても、やはり日本スポーツ協会の会長でいらっしゃいますから、さまざまなご助言やご指導などをいただけましたらありがたいと思っておりますので、そういった方面でも、これからますますご活躍されるのではないかなというふうに思っております。

す。ぜひ山形県のために大いにさまざまなお力添えをいただければありがたいというふうに思っております。

記者

朝日新聞、斎藤です。

すいません、私からも衆院選についてなのですが、19日に高市総理大臣が衆院解散の表明をする記者会見をされました。知事もお覧になっていたかとは思のですが、高市総理を選ぶかどうかとか、食料品の消費税の2年間ゼロの検討とかですね、あと、いずれにしても国家の根幹に関わる重要政策の大転換が選挙の結果次第では進められるというふうな、そういう方針を示されたと思います。その中で知事としては、特に気になった点とか御関心を特に示されたところがあれば所感を伺いたいと思います。

知事

そうですね。ちょうど私、その時、歯が痛くてですね、歯が腫れてちょっと微熱まであって、でもラジオで聞いておりました。聞かなきゃなと思ってラジオで聞いていたんですけれども、本当に堂々と所信を述べられたなと思いますけれども、その内容にまで踏み込んでコメントするのは、私の立場では今することではないかなということで、ご勘弁いただきたいというふうに思います。

本当に国民の皆さんに話しかけて、戦うという気力がみなぎっていたように思いました。

記者

山形放送の熊坂と申します。よろしくお願いいたします。

ちょっと私からも衆院選への質問で大変恐縮ですが、昨日ですね、立憲民主党、国民民主党、連合山形の2党1団体が発表したというところで、今回の衆院選において、新党結成なども踏まえて、今までの2党1団体、統一候補としての支援は、今回は一旦棚上げにするというふうな発表がございました。

これまで知事も知事選などで支援も受けてこられたと思うんですが、昨日のその発表についてどのように受け止めていらっしゃるかお聞かせいただけますでしょうか。

知事

そうですね、やはり個別の政党というところについて私は言及はしないことにしております。ただ、本当に目まぐるしく変わる、政治は生き物だというふうに言われておりますけれども、まさにそれを見る思いであります。

連合さんにはずっと支えてきてもらいましたし、その2党にも大変お世話になってきたという経緯がありますので、「おお、そうなるのか」という思いで、本当に遠藤先生の引退表明にもびっくりしましたが、2党1団体ということにならないというような、共闘には

ならないというようなことについても、正直言って私の立場ではどうしたものかなというふうに戸惑っているところであります。

ただ、本当にそういう動きが非常に大きい局面だなというふうに受け止めまして、私がどうするかというようなことについては、やはり後援会の皆さんとしっかり話合いをして色々なお考えをお聞きしたいというふうに思ったところであります。

記者

TUYの松浦と申します。よろしくお願いいたします。

衆院選に絡んだ質問で大変恐縮なんですけれども、今回、遠藤利明さんが不出馬ということに当たりまして、御長男の遠藤寛明県議が出馬を表明されたところでございます。県政のほうでは議論も交わされていたかと思いますが、知事の遠藤寛明県議への印象は、どのような印象をお持ちでしょうか。お聞かせください。

知事

そうですね、本当に県議会で県議会議員として、さまざまなお考えをきっちりと表明される方であったというふうに思っております。昨日辞職されてね、その帰りにちょっと立ち寄って行かれたけれども、「本当にこれまでお世話になりました」ということで、大変張り切っておられました。

私があまりしゃべるとですね、いろいろな、寛明先生、また対抗馬の原田（和広）先生も県議会議員でいらっしゃいましたので、両方褒めなきゃいけないということになってしまいますので、本当に私からしてみると「皆さんがんばってください」としか言えないのかなというふうに思っています。本当にそれぞれ県議会で活躍し、県の発展のためにお働きいただいた方々でありますので、本当に「みんな当選してください」と言いたくなります。秋田県などは本当にみんな当選なさって、宮城県と同じくらい国会議員が多くいらっしゃるんですよ。それもその県の力になるんだろうというふうに思っております。

どうなるかはまったく県民の皆さんの御判断ということになりますけれども、本当に大変さわやかな若者であるというふうに思っております。

記者

私から最後に、今の質問に絡むんですけれども、去年の知事選でもオール与党体制で遠藤利明さんとはですね、一緒に築き上げてきたところではあると思います。その中で今回不出馬、立候補としては遠藤寛明県議が、世代交代という形になりますけれども、今後の県政と国政との関係性と言いますか、そのあたりの影響については何か考えていらっしゃるのでしょうかありましたらお聞かせください。



知事

まずはその今回の県民の御判断、そして国民の御判断ということで、政権がどういうふうになっていくのかということがあると思いますので、県としましては、しっかりとその中央政府ともパイプを太く持って、やはり県の発展のために私は全力を尽くす立場でありますので、本当に皆さんがんばって選挙をしていただいて、そしてその結果を見ながら、県として、県の発展のためにお力添えをいただきたいと思いますと思っています。

記者

河北新報です。

今の TUY さんの質問と関連するかと思うんですけども、先ほどの遠藤利明先生の、今回引退されるということで、知事も県内のトンネル整備を進めてくれたというお話があったかと思うんですけども、それ以外でも遠藤先生といろいろな県政課題についてですね、共にお仕事とかをやられてきたかとは思いますが、その中で印象に残っているような政策ですとか、仕事とかあれば教えていただきたいんですけど。

知事

そうですね、やっぱり一番大きな政策というか、山形県政に関わることでは、やはり米沢トンネルです。

遠藤先生がいらっしゃらなければここまで来られなかったのではないかと思いますし、今後も本当にお力添えをいただきたいと思いますと思っていたので、本当にびっくりして、思わず「トンネルどうするんですか？」というふうに私などは叫びたくなりましたね。あまりにも大きくそれが浮かんできます。

記者

それ以外というよりは、それがもう非常に大きく。

知事

はい。大変大きかったと思います。あと、さまざまな面でいろいろお力添えはいただいていたんですけども、やはりそれが一番大きかったなというふうに思っています。